

JIS2004への対応について

1. JIS2004とは

JIS漢字が2004年に最新のJIS X 0213:2004（以下JIS2004）に改正されました。JIS2004は「国語施策として示されている印刷標準字体」および「法令に基づく施策である新人名用漢字」の双方に対応した最新のJIS規格です。

マイクロソフトでは、Windows XP/Windows Server 2003で採用されていたJIS90を、Windows Vista以降/Windows Server 2008でバージョンアップし、JIS2004に対応しています。

2. JIS2004で変わる点

JIS2004では、これまでのJIS90から次の点に変更されています。

《JIS2004の変更点》

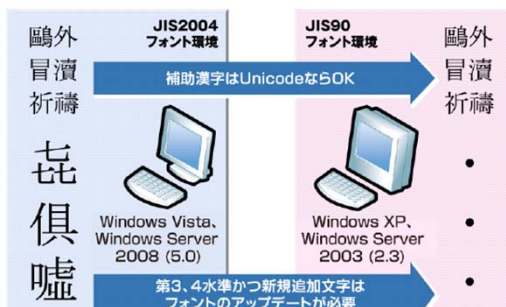
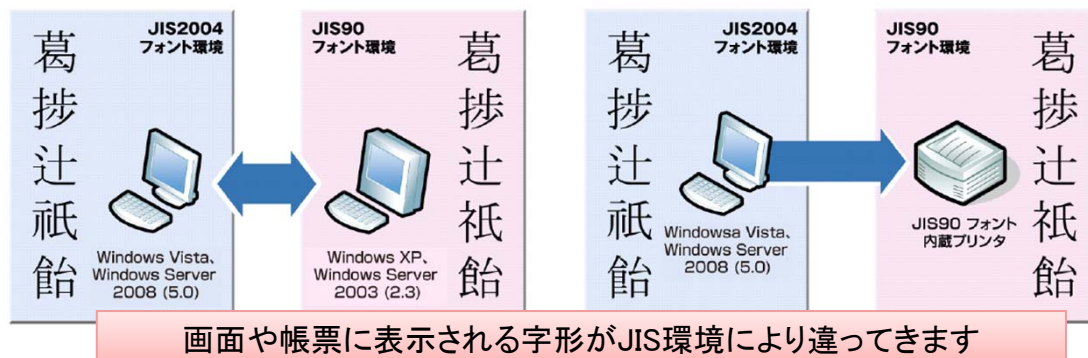
- ・一部の漢字体の字形変更
（辞書や戸籍資料で利用されている漢字に近い文字へ改良、122文字）
- ・漢字の追加
（約4,300文字）

JIS200とJIS90の
字体変更の例

JIS2004 (Windows Vista, Windows Server 2008)	JIS90 (Windows XP, Windows Server 2003)
味噌	味噌
葛飾区	葛飾区
祇園	祇園
進捗	進捗
尊	尊

3. JIS2004による問題点

JIS90 (Windows XP) と JIS2004 (Windows Vista/Windows 7等) が混在した環境下では、システム利用や外部システムとのデータ連携時に以下のような問題が発生します。



4. 混在環境でのシステム的な対処方法について

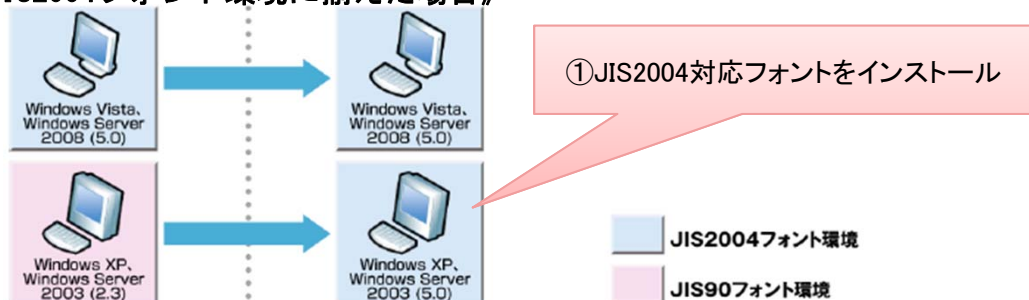
JIS2004による問題点に対応するために、マイクロソフトでは2つのフォントパッケージを無償で提供しています。

- ① JIS2004対応 MSゴシック・MS明朝 Version 5.0
- ② JIS90対応 MSゴシック・MS明朝 Version 2.5

これらのフォントパッケージを利用することにより、次のいずれかの対応が可能になります。（※Windows2000はJIS2004に対応することは出来ません）

1. WindowsのフォントをJIS2004に揃える
(WindowsXPパソコンにすべて①を適用)
2. WindowsのフォントをJIS90で維持する（将来的にJIS2004へ）
(WindowsVISTA/7 全てのパソコンに②を適用)
3. 「JIS2004による問題点」の影響がないとき JIS2004とJIS90フォントを共存させる（①も②も利用しない）

《例. JIS2004フォント環境に揃えた場合》



《参考》JIS2004とJIS90の違い

		JIS90(6,879文字)	JIS2004(11,233文字)
非漢字		524文字	同左
	追加	—	659文字
非漢字計		524文字	1,183文字
漢字	第一水準	2,965文字	同左
	第二水準	3,390文字	同左
	第三水準	—	1,259文字
	第四水準	—	2,436文字
漢字計		6,879文字	11,233文字